

豊島区ホームページと「広報としま」に
記事が掲載されました

としまこども音楽フェスティバルに関する記事が、豊島区ホームページと区が発行する「広報としま」2月1日号に掲載されました。ホームページのアドレスは下記になります。

<https://www.city.toshima.lg.jp/125/2501161333.html>

**【初開催】としまこども音楽
フェスティバル2025参加者**

3月25日(火) 午前10時～午後4時
としま区民センター◇子ども向けの音楽フェスティバル。家族や友達とカラオケを楽しもう◇区内在住、在学など豊島区につながりのある小・中学生と保護者◇70名

④ 2月14日までにEメールで
東京池袋豊島東ロータリークラブ
info@ikebukuro-toshimah-rc.org
へ※先着順。

⑤ 当実行委員会 ☎090-2648-0153

「広報としま」に掲載されました

https://www.city.toshima.lg.jp/012/kuse/koho/kohoshi/backissue/r06/documents/202502_all.pdf
こちらから「広報としま」がダウンロードできます。



2月お祝い

会員誕生日 長尾 益男
皆出席年 19 野口 昇兵
4 里見 雅行

2月 例会 SAA 担当

司会 細田新子会員
ニコニコ担当 小代順治会員
写真担当 小泉博明会員
ソングリーダー 佐藤美枝子会員



Weekly Report



会長:佐藤久雄 幹事:高木義男 RI会長:ステファニーA.アーチック 第2580地区ガバナー:石川彌八郎

本日の例会

2月6日(木)12:30～13:30
卓話:「EV(電気自動車)の過去・現在・未来」
卓話者:梅田晴郎会員
紹介者:鈴木孝雄会員

次回の例会

2月13日(木)12:30～13:30
卓話:「昭憲皇太后に学ぶ
～平和への祈りと世界へのまなざし～」
卓話者:今泉宣子様
紹介者:佐藤美枝子会員

1月23日 例会報告

司会 加古会員
開会点鐘 佐藤会長
ロータリーソング
ソングリーダー 森川会員

☆会員総数 33名
☆出席規定適用者数 27名
★本日の出席者総数 21名
★免除者出席数 3名
★本日の出席率 67.74%



米山功労者 第7回マルチプル 廣内会員

【名著を読む】

マルクス・アウレリウス『自省録』

アウレリウスはローマ皇帝で、後期ストア派の哲学者である。原題は「自分自身に対してのもの」という意味で、自分自身と向き合い、対話しながらストア的な思索を行った。この世の無常を諦観し、宇宙を支配する神の理法を信じ、運命を愛し日々の義務を誠実に果たした。(小泉博明)

☆ゲスト

バラグエイ レアンヌさん
卓話者/バギオ基金留学生
ディクセン トリシャさん
卓話者/バギオ基金留学生
タヌボン ミラソルさん
卓話者/バギオ基金留学生

☆ビジター

JOEHAN TOHKINGKEO様
SINGAPORE EAST CLUB

会長報告

1. 米山功労者 第7回マルチプル 廣内世英会員

ニコニコ

石塚会員 私事ですが、この度社長に就任いたしました。ニコニコさせていただきます。今後ともご指導のほど宜しくお願いします。

本日の合計額: 10,000円
今年度ニコニコ累計額: 323,000円
今年度指定ニコニコ累計額: 32,000円
12/19例会オークション合計額: 47,000円

1月23日 卓話報告

ミラソル タヌボンさん

ミラソルは向日葵という意味です。趣味は料理や美術品・工芸品作りです。フィリピンではアボンの奨学生で、そこで日本を知りました。高校卒業時にバギオ基金の奨学金を目指して勉強しましたがコロナ禍で一時停止。大学2年生の時に再開されて応募しました。国際関係論を専攻しています。国際関係学は世界で何が起きているかを考えるだけではなく、多様な文化的背景を持つ学生が自分の意見を表明し、互いに学び合う貴重な機会となっています。授業の他に日本人の会話のパートナーがいます。将来の仕事について話しをすると、優しい日本語で沢山のアドバイスをくれました。子どもの頃は教師になりたいと思っていましたが、今は、日本大使館で働きたいと思っています。仕事をしながら家族を助け、バギオ基金の活動にも参加したいと考えています。一人暮らしは大変ですが、見守って下さるバギオ基金の皆様へ感謝し、誇り思っ頂けるよう全力を尽くします。

トリシャ ディクセンさん

写真、山登り等が好きです。季節は春、綺麗な桜と春の陽気が大好きです。来日当初は市役所等で話すのに苦労しましたが、先生や先輩・友達のおかげで日本語は上達しました。初めて電車にも乗りました。電車は簡単・便利ですね。東京国際大学で勉強しています。英語で学びながら、中級日本語の授業も受けています。日本語の会話パートナーとの練習も楽しみの一つです。諸外国の政治と法律を学びたいとグローバルガバナンスを専攻しました。看護師か技術者になりたかったのですが、来日して視野が広がり、今の目標はフィリピンや日本の大使館で働くことです。2019~23年にアボンの奨学生として支援して頂きました。毎月アボンで会議があり、近況だけでなく野外活動

や日本文化関連の活動で多くのことを学びました。さて、バギオ市は、フィリピン北部に位置し、毎年2月の“Panagbenga”は“バギオの花フェスティバル”とも呼ばれ、新鮮な花で飾られた山車、活気に満ちたストリートダンスや伝統舞踊を通じて観光客と地元市民を魅了しています。バギオやフィリピン全土では日本料理や生け花が人気です。空手・柔道・合気道は、体力向上だけでなく、心に響く規律・尊敬・自己改善として広く実践されています。日本の伝統文化が融合することで地域の文化が豊かになり、文化交流が促進されています。

リアン バラッグイさん

デジタルビジネスとイノベーションについて学んでいます。趣味はアニメ・編み物・料理・旅行と写真です。日本では趣味に必要なものが簡単に手に入ることに驚きました。留学で国際交流を経験し、フィリピンと日本と他国の共通点や相違点を知ることができて視野が広がり、将来は国際的な企業で働きたいと考えています。今年に入って人生初のアルバイトを始めました。学生が簡単にアルバイトを探せるとは思っていませんでした。フィリピンではアルバイトでも大卒や経験者優先が当たり前です。日本で四季を経験できたのも幸せでした。子どもの頃から医者や警察官・教師など、地域社会に貢献することを夢見てきました。ロータリーは職業奉仕を信条として地域社会に根ざした活動をしています。その恩恵を受けた者として、いつか地域社会に恩返しをしたいと思っています。夏休みに、子ども防災キャンプボランティアに参加して他国のボランティアと交流したり、子どもたちにフィリピンのことを教えたりしました。来日してもう一年になります。沢山のことを学びました。これからも新しいことを経験し、新しい場所に行き、より多くの人に会うことを楽しみにしています。



卓話者 米山基金留学生
ミラソル タヌボンさん



卓話者 米山基金留学生
トリシャ ディクセンさん



卓話者 米山基金留学生
リアン バラッグイさん

社会奉仕委員会報告

第2580地区 ロータリー財団地区補助金プロジェクト報告 (第9回)

令和7年1月20日(月)豊島区池袋本町小学校(工藤哲士校長)にて、5、6時間目(13:25~15:00)に第9回「としまこども講談教室」を開催した。当日は5年生130名が体育館に集合し、宝井琴鶴の「道徳科」の授業(90分)を受講した。池袋本町小学校は、小学校と中学校が一体となっ

た最新型の校舎であり、廊下も広く、教室も開放的である。

授業は、「見て聴いて体験しよう!日本の伝統話芸 講談」というテーマである。授業の内容は、前回とほぼ同様であるが、授業内容はバージョンアップしている。こどもたちの講談体験だけではなく、「待ってました。たっぷり」という、こどもたちの大きな声援を受けて担任の先生、工藤校長先生も講談を体験した。

次は、3月10日(月)に豊島区立西巢鴨中学校で開催予定である。

(社会奉仕委員会 小泉博明)

